

2027 年度
学校推薦型選抜
文化活動に優れた者の推薦
(公募推薦)

書類予備審査申請書

文化活動に優れた者の推薦での受験を希望する場合は、団体の活動等をよくご理解いただくため、事前に当該団体と連絡を取ることを勧めます。当該団体に関する問い合わせは学生課（022-264-6471）にご連絡ください。



東北学院大学

■学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦（公募推薦）について

本学の伝統・学風を理解し、それらを継承する意欲を持った学生を入学させるという学校推薦型選抜の趣旨に基づいて、入学者を選抜します。多様な文化活動についての能力を有する学生を迎え、個別の能力のある学生を育成することで、社会に幅広く活躍できる人材を送り出すことにより文化活動の振興に寄与することを目指します。

〔募集定員〕

学 部	学 科	定 員	学 部	学 科	定 員
文 学 部	英 文 学 科	3 名	地 域 総 合 学 部	地 域 コ ミ ュ ニ テ ィ 学 科	2 名
	総 合 人 文 学 科	1 名		政 策 デ ザ イ ン 学 科	2 名
	歴 史 学 科	3 名			
経 済 学 部	経 済 学 科	4 名	情 報 学 部	デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	3 名
経 営 学 部	経 営 学 科	4 名	人 間 科 学 部	心 理 行 動 科 学 科	2 名
法 学 部	法 律 学 科	5 名	国 際 学 部	国 際 教 養 学 科	2 名
工 学 部	機 械 知 能 工 学 科	1 名	未 来 探 究 科 学 部 ※	デ ジ タ ル 構 想 学 科 ※	2 名
	電 気 電 子 工 学 科	1 名			
	環 境 建 設 工 学 科	1 名	教 育 学 部 ※	教 育 学 科 ※	3 名

*未来探究科学部デジタル構想学科及び教育学部教育学科は届出申請中です。計画内容は変更されることがあります。

〔出願資格〕

次の全てに該当する者

- (1) 文部科学省が定める大学の入学資格のうち、2027 年 3 月 31 日までに以下の①に該当し、2027 年 4 月 1 日時点で 18 歳に達する者
 - ① 高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者
- (2) 専願制度の趣旨を理解し、合格後は入学する意思を持つ者
- (3) 出願する学部学科での勉学を希望する者
- (4) 本学在学中、本学課外活動団体で文化活動を継続する意思を持つ者
- (5) 調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上の者
- (6) 学校長からの推薦による者
- (7) 「文化活動に優れた者の推薦」の書類予備審査を受け、この審査により、受験資格を認められた者

〔出願条件〕

- (1) 出願資格(1)について卒業・修了・合格の「見込み」で出願できます。ただし、この場合、選抜に合格した者が、2027 年 3 月 31 日までに卒業・修了・合格しなかった場合は入学を許可しません。
- (2) 併設校の東北学院高等学校・東北学院榴ヶ岡高等学校からは出願できません。
- (3) 本学の 2027 年度大学入学者選抜に合格していないこと。

■書類予備審査申請について

出願を希望する方は、「2027 年度学校推薦型選抜文化活動に優れた者の推薦（公募推薦）」の書類予備審査を必ず受けてください。この書類予備審査により、受験資格を認めるかどうかを評価します。評価結果は評価通知日に出願者へ発送します。なお、審査料は無料です。

「受験ガイド 2027」の「文化活動に優れた者の推薦（公募推薦）」(37～38 ページ)の概要と、書類予備審査の内容をよく理解したうえで申請してください。

〔申請期間〕

2026 年 9 月 9 日（水）～9 月 15 日（火） 15 時必着

〔提出先〕

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目 3-1 東北学院大学 アドミSSIONズ・オフィス 宛

[書類予備審査提出書類]

1. 文化活動に優れた者の推薦 書類予備審査申請書（様式 1）
2. 文化活動の活躍の記録（様式 2）
3. 出身学校の調査書【次の①、②に該当する者のみ提出】

①既卒者

- ②新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大会の中止・延期等により、調査書の特別活動及び指導上参考となる諸事項の欄が記載できない者。この場合は、上記事由が本学で判別できるよう、その理由を付した調査書を提出ください。※記載例：「〇〇〇に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。」

[申請方法]

必ず簡易書留郵便で、申請期間内に到着するようアドミッションズ・オフィスへ郵送してください。
封筒には「文化活動推薦書類予備審査申請書在中」と朱書きしてください。

[評価通知]

評価結果は、2026 年 10 月 9 日（金）に出願者へ発送します。受験資格を認められた方には、対象団体の活動内容についての詳細を同封いたします。

[対象団体]

後述する文化活動名とコード表をご確認ください。

■書類予備審査申請書記入上の注意

書類予備審査申請書に記入する際には、特に次の点に注意してください。その他の留意事項は記入例をご確認ください。

- (1) 申請者本人が自筆でいねいに記入してください。
- (2) 訂正の際は、~~訂正~~のように二重線を引き、訂正印を用いてください。修正液等は使用しないでください。
- (3) 証明者には、申請者本人の記載した内容を確認してもらい、証明者本人に自筆で記入、捺印してもらってください。
- (4) 「指導教員の所見」について
 - ・ 高等学校（中等教育学校含む）の在学中の方は、在学する学校の指導教員に記入してもらってください。学校外の団体に所属している活動の場合でも、必ず在学する学校の教員の記入が必要になります。
 - ・ 所見を記入する教員は、クラス担任や部活動顧問の教員等、何らかの形で申請者を指導している教員であれば誰でもかまいません。
 - ・ 既卒者の方は、記入不要です。

■提供いただく個人情報の取扱いについて

本予備審査では志願者の個人情報をご提供いただき、これらの情報は、本予備審査のみで利用します。予備審査申請書を提出いただいた時点で、個人情報の取扱いについてご同意いただいたものといたしますので予めご了承ください。

また、本選抜の出願時に改めて提出いただく志願者・保証人の個人情報の取扱いについては、募集要項にて掲載します。

[東北学院大学における個人情報の取扱いについて]

学校法人東北学院（以下「本院」といいます。）は、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」に基づき「学校法人東北学院個人情報保護に関する基本方針」及び「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定めております。本院教職員へはこれらの周知徹底を図り、個人情報の適正な管理と保護に努めております。

詳細については、学校法人東北学院ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.tohoku-gakuin.jp/general/privacy.html>



※書類予備審査申請書にご記入いただいた個人情報および審査結果については、厳重に管理します。

[お問い合わせ先]

東北学院大学 学生部 学生課 TEL 022(264)6471

【様式 1】

2027 年度 東北学院大学 学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦書類予備審査申請書

志望学部・学科		学部		学科		※大学使用欄	
---------	--	----	--	----	--	--------	--

文化活動名		文化活動コード		高校での文化活動・団体名		役割（部長・副部長・楽器・パート等）	

フリガナ					出身校	都・道府・県	国立・公立・私立
氏名						学校	
生年月日	西暦	年	月	日		性別	男・女
現住所	郵便番号	—		電 話	—		
	都・道府・県						

主 な 活 動 ・ 記 録			
1 学年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
2 学年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
3 学年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		

既卒者の方のみ記入：学校卒業後、文化活動はどこで続けましたか。学校卒業後の「主な活動・記録」がある場合は、備考欄に記入してください。

1. [] の一員として 2. どこにも属さず自分で 3. その他 []

備考欄

指導教員の所見

本書の各記載に誤りがないことを証明する。 記入日：西暦 年 月 日

[出願者との関係:○で囲みます]

1. クラス担任 2. クラブ顧問 3. その他「 」

証明者氏名

㊞

文化活動の活躍の記録

氏 名		枚中の
重ね貼り禁止 (貼付資料が複数枚ある場合はこの用紙をコピーし、貼付してください)		
【注 意】 - 賞状、認定証、新聞記事、雑誌等の切り抜きのコピーを<u>この枠内に貼付</u>してください。(A4 判 80%程度に縮小してください) - 各貼付物には大会名、年・月、掲載された新聞紙名・雑誌名を添え書きしてください。 <u>貼付資料の重ね貼りをしないでください。</u>大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小コピーしてから貼付してください。 - 用紙が複数枚必要な場合は、この用紙をコピーして貼付してください。この用紙が複数枚になったとき、例えば3枚の場合は右上の「<u>枚中の</u>」は3枚中の1、3枚中の2、3枚中の3と記入してください。		

○予備審査にあたっての注意事項及び「様式Ⅰ：文化活動に優れた者の推薦書類予備審査申請書」の記入例

- 予備審査申請書に虚偽の記載があった場合には、合格及び入学を取り消す場合があります。
- 印欄を除き、漏れなく消せない黒ボールペンで記入してください。
- 文化活動名・文化活動コード欄は、本書に添付されている「文化活動名とコード表」を確認し記載してください。（出願資格を満たす文化活動・団体名をご記載ください。）
- 文化活動に特に優れている者とは、全国規模の大会または都道府県の大会において活躍し、優れた成績をおさめた方（団体競技の場合は、優れた成績をおさめたチームの一員である方を含む）及び、これに準ずる優れた能力、技量を有する方のことです。
- 大会・コンクール名は省略せず、必ず正式名称で記入してください。
- 「備考欄」の記入について
「主な活動・記録」の欄で書ききれない大会や活動、特に優れた技量、または校内活動等においても特記すべき内容があれば記入してください。
[例] 国際大会の経験、海外遠征、生徒会活動、クラス内における活動、地域貢献活動、その他。

大学で活動を希望する文化活動を本書に添付されている「文化活動名とコード表」を確認し記載します。

「役割」の欄は、部長、副部長、会計、パートリーダーもしくは担当の分野等（例：合唱であればパート、吹奏楽部であれば楽器名、放送であればアナウンサー、ディレクター等）、文化活動で担った内容を記入します。

1. 「主な活動・記録」の欄は、高等学校・中等教育学校での活動を学年ごとに記入します。
2. 「主な出場大会・コンクール等」は、大会に出場した方のみ記入します。複数の大会に出場した場合は、成績の良い大会から順に2つ記入します。
3. 大会やコンクール等で賞、順位等がある場合は、大会の規模も含めて具体的な内容を「成績・記録・活動内容」の欄に記入します。
4. 活動内で中心的な存在として活躍したことがあれば、その内容を具体的に記入します。

証明者本人が署名をしてください。

学校既卒者のみ現在の状況を記入します。

指導教員本人が所見を記載します。

出願者との関係を○で囲みます。その他の場合その関係も記入します。

【様式Ⅰ】2027年度 東北学院大学 学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦書類予備審査申請書

志望学部・学科	文 学部 英文 学科	※大学使用欄	
文化活動名	文化活動コード	高校での文化活動・団体名	役割（部長・副部長・楽器・パート等）
合唱	424	音楽部	部長・アルトパートリーダー
氏名	ガクイン ハナコ	出身校	宮城 〇〇高等 学校
生年月日	西暦 2008 年 4 月 2 日	性別	男・女
現住所	郵便番号 980 - 8511	電話	070 - XXXX - XXXX
	宮城 都・道 府・県		仙台市青葉区土樋1丁目3番1号 青葉ハイツ203号室
主 な 活 動 ・ 記 録			
1 学年	主な出場大会・コンクール等	① 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会 ② 第〇回宮城県合唱コンクール大会	
	成績・記録・活動内容	合唱コンクールの県大会では金賞で3位をとり、東北大会に出場した。東北大会では、銀賞で15位だった。文化祭では少人数のグループでゴスペルに挑戦した。秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストに出場、金賞を受賞した。	
2 学年	主な出場大会・コンクール等	① 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会 ② 第〇回宮城県合唱コンクール大会	
	成績・記録・活動内容	アルトのパートリーダーとして20人のパートをまとめた。合唱コンクールの県大会では金賞で3位をとり、東北大会では金賞で9位だった。文化祭ではミュージカルを行い、小道具作成を中心になって行った。秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストで金賞を受賞した。	
3 学年	主な出場大会・コンクール等	① 第〇回全日本合唱コンクール全国大会 ② 第〇回全日本合唱コンクール東北支部大会	
	成績・記録・活動内容	部長として60人の部員をまとめ、合唱コンクールの県大会では金賞で2位をとり、東北大会に出場した。東北大会では、金賞で4位をとり東北代表として全国大会に出場した。全国大会では銀賞で、15位だった。また、秋には福祉施設への慰問演奏を行った。冬には第〇回宮城県合唱アンサンブルコンテストに出場を予定している。	
既卒者の方のみ記入：学校卒業後、文化活動はどこで続けましたか。学校卒業後の「主な活動・記録」がある場合は、備考欄に記入してください。			
1. [] の一員として 2. どこにも属さず自分で 3. その他 []			
備考欄			
指導教員の所見			
本書の各記載に誤りがないことを証明する。 記入日：西暦 2026 年 9 月 1 日			
[出願者との関係：○で囲みます] 1. クラス担任 2. クラブ顧問 3. その他「]			
証明者氏名 宮城 太郎			

文化活動名とコード表

文 化 活 動 名	本 学 の 団 体 名	文 化 活 動 コー ド
応 援 団	応援団	4 0 2
チ ア リ ー デ ィ ン グ	チアリーディングチーム	4 4 0
合 唱	キャロラズ（女声合唱） グリークラブ（男声合唱） 宗教部聖歌隊（混声合唱）	4 2 4
吹 奏 楽	シンフォニック・ウインド・アンサンブル（S.W.E.）	4 4 2
美 術	美術部	4 2 8
書 道	書道研究部	4 2 6
英 語	英語会（E S S）	4 2 0
演 劇	演劇部	4 2 2
放送（制作・技術・アナウンス等）	放送会	4 0 6
ロ ボ ッ ト 製 作	ロボット研究会	9 0 0

文化活動団体の活動内容

団体名	部員（団体員）数		部（団体）の主な活動内容
	主な活動場所（今年度）		
応援団	男5 女3		式典や体育会各部の応援を通じ、全学生のリーダーとして大学全体を盛り上げることを目的としています。青山学院大学や北海学園大学との定期戦、仙台六大学野球等では、チアリーディングチームやシンフォニックウインドアンサンブルと共に活動を行い、全日本学生応援団連盟演舞会にも参加しています。また箱根駅伝の応援にも青山学院大学の友情応援の形で参加しています。創団75年以上の歴史と伝統を誇り全国、東北地区応援団の統率校として活躍しています。
	五橋、土樋キャンパス		
チアリーディング チーム	男1 女48		DAISYS（ディージーズ）は、東北・北海道初のチアとして発足し、体育会の応援活動や式典・大学祭等の文化活動を推進し、学外のイベントへも多数参加する等、大学を広くアピールする活動をしています。 仙台六大学野球リーグ戦応援のほか、青山学院大・北海学園大との定期戦では隔年東京と札幌へ遠征します。練習は週2回、シーズン中は土日も活動します。
	土樋キャンパス		
キャロラーズ （女声合唱）	男0 女26		キャロラーズは女声合唱のサークルです。数年前から宗教部聖歌隊（混声合唱）と一緒に練習をしており、現在は聖歌隊の女声パート有志によってサークルを継続させています。キャロラーズとしては、今秋に有志によるミニコンサートの開催を予定しています。
	土樋キャンパス		
グリークラブ （男声合唱）	男5 女0		男性合唱のサークルであり、宗教部聖歌隊（混声合唱）と一緒に練習をしています。 週1回程度練習をしており、折々の機会に聖歌隊と一緒に発表しています。
	土樋キャンパス		
宗教部聖歌隊 （混声合唱）	男10 女28		「東北学院大学の真ん中で歌う合唱団として、音楽礼拝や大学祭で歌っています」 毎年開催される「宗教音楽の夕べ」では高度な曲にもチャレンジして参加します。秋からは、クリスマス礼拝に向けてヘンデルの「メサイア」の練習を開始し、本番ではプロと共演します。また宗教曲の他、日本の合唱曲を歌い演奏会を催すなど活発な活動をしています。
	土樋キャンパス		
シンフォニック ウインド アンサンブル （S.W.E.）	男33 女76		夏の吹奏楽コンクールと冬の定期演奏会を中心に、大学の諸行事での演奏や運動部への応援、ボランティア演奏など年間を通して積極的に活動を行っています。また、青山学院大学と北海学園大学との定期戦では隔年で東京と札幌へ遠征し応援と演奏会を行います。 仲間とともに協力し合いながら、日々目標達成に向けて演奏技術を磨いています。
	土樋・五橋キャンパス		
美術部	男3 女10		美術部は絵画やイラストをはじめ、それぞれが興味のある分野で自由に制作活動を行っています。また、年に数回ある展示会を中心に、その他出品したい美術展やコンクールなどがあれば、そこに向けた制作も同時に取り組んでおります。
	土樋キャンパス		
書道研究部	男11 女29		創部63年目の団体です。四月展（櫻華展）・立秋展・大学祭展覧会・卒業作品展など、学内外で作品を発表しています。大学祭や各イベントにおいて、書道パフォーマンスも披露しています。部員は初心者から高い技能を持つ有段者まで様々であり、講師の指導のもと、確かな技能・知識を学ぶことを心がけています。週2回の練習、長期休暇時の強化練習・合宿など、それぞれのペースで和気藹々と活動に取り組んでいます。
	土樋キャンパス		
英語会 （ESS）	男0 女0		主な活動内容は、英語による演劇、スピーチ、ディスカッションなどです。これまでは学内活動にとどまらず、他大学との交流も図ってきました。 本団体は本学の文化活動団体において最古の歴史を持ち、過去に多くの優れた業績を残してきました。しかし、現在は部員数が十分でないため、今後、活動を休止する可能性があります。
	土樋キャンパス		
演劇部	男24 女33		4、5月には新入生歓迎行事や公演会、7月には新入生を交えた公演を行っています。大学祭でも公演を行っています。2月には卒業公演を行い、年に4回の公演があります。また、年間を通して他大学や一般の劇団の公演やワークショップ、とうほく学生演劇祭などに参加し、演劇についての知識・技術を学んでいます。
	土樋キャンパス		
放送会	男21 女17		放送会は現在、38名が在籍しており、報道部、制作部、技術部の計3部で活動しています。主な活動内容はお昼の学院放送やラジオドラマ制作、ラジオ番組収録などです。この他に、不定期でYouTubeへの番組投稿も行っています。また6月に青山学院大学・北海学園大学で定期戦の取材を、9月に夏期合宿を行っています。さらに10月には大学祭（五橋：五橋祭、土樋：放送祭）に参加しています。
	泉・土樋キャンパス （スタジオ・会室）		
ロボット研究会	男12 女0		ロボットコンテスト出場や学祭での展示用のロボット開発を主な目標として活動しています。一方、当会はロボットメカトロ実践教育という面を持ち、講義等で習う専門知識に加えて実際にものづくりを経験することで、メカ、電子回路、ソフトウェアなど広範の技術を身につけます。活動も4年生や大学院生のいる研究室（五橋研究棟3F）で行います。
	五橋キャンパス研究棟		

※より詳細の説明については、予備審査通過者に改めてお送りします。